

## 4 ヤリタナゴ

(コイ科)

兵庫県ランク:B

*Tanakia lanceolata*

環境省ランク:NT

## 種の概要

全長は10cm程度。流れが緩やかな河川中・下流域、それに続く用水路に生息する。水生昆虫や甲殻類、藻類等を食べる雑食性。産卵期は春から夏で、カタハガイ、オバエボシガイ、マツカサガイなどの二枚貝の鰓に卵を産み付ける。1年で成熟し、寿命は2～3年。国内では九州から青森県にかけて広く分布する。



写真提供: 兵庫県立人と自然の博物館(撮影: 増田 修)

## 県内における生息状況及びその他特記事項

県内では日本海側の円山川、由良川水系、瀬戸内海側の多くの水系に分布するが、淡路島では確認されていない。河川の中・下流域に生息することが多いが、河道傾斜が緩やかな加古川や武庫川水系では上流区間にも分布する。

## 保護上の留意点

産卵基質がイシガイ科の二枚貝であり、この二枚貝のグロキディウム幼生は主にヨシノボリ類に一時寄生するという複雑な関係の中で本種はその生活史を成立させている。2002年に河川改修の行われた武庫川上流区間では、改修により疎通状況が改善されたためか、タナゴ類の中では流水環境を好む本種がやや増加している(田中, 2014)。

## 県内分布

神戸市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、加古川市、西脇市、小野市、加東市、姫路市、相生市、赤穂市、たつの市、太子町、上郡町、豊岡市、養父市、篠山市、丹波市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

## 主要な選定理由

|     |    |   |
|-----|----|---|
| 人為性 | 激減 |   |
|     | 環境 | ○ |
|     | 捕獲 | ○ |
| 特殊性 | 遺伝 |   |
|     | 特殊 | ○ |
|     | 孤立 |   |
| 学術性 | 極限 |   |
|     | 限界 |   |
|     | 希少 |   |

